

hinoko

Latihan membaca JLPT N5: 15 cerita pendek dan soal

Cerita bahasa Jepang yang ditulis untuk JLPT N5, dengan furigana, soal pemahaman, kunci jawaban, dan terjemahan.

1. Baca setiap teks tanpa terjemahan dulu. Setiap kanji punya furigana.
2. Jawab soal-soalnya, lalu cocokkan dengan kunci jawaban di akhir buku.
3. Baca terjemahannya paling akhir, untuk melihat apa yang sudah kamu pahami.

Gratis: cetak dan bagikan. www.hinoko-japanese.com

Latihan soal membaca format JLPT

TEKS 1

マリアさんから ゆうこさんへの メモです。

ゆうこさんへ

あしたの パーティーは 六時(ろくじ)からです。

わたしは 五時(ごじ)に えきの 前(まえ)で まって います。いっしょに 行(い)きましょう。

ケーキは わたしが かいます。ゆうこさんは のみものを かって きて ください。

マリア

1. ゆうこさんは あした 何(なに)を しますか。

1 六時(ろくじ)に えきの 前(まえ)で マリアさんを まちます。

2 ケーキを かって、パーティーに 行(い)きます。

3 のみものを かって、五時(ごじ)に えきの 前(まえ)へ 行(い)きます。

4 マリアさんと いっしょに ケーキを かいます。

TEKS 2

リーさんが 書(か)いた さくぶんです。

わたしは 先月(せんげつ)、日本(にほん)に 来(き)ました。いまは 大学(だいがく)の ちかくの アパートに すんで います。

きのうは 日(にち)よう日(び)でした。あさ、となりの へやの 山下(やました)さんと 川(かわ)の そばを さんぽしました。川(かわ)の 水(みず)は とても きれいでした。

ひるごはんは 山下(やました)さんの へやで 食(た)べました。山下(やました)さんが カレーを つくりました。すこし からかったですが、おいしかったです。

午後(ごご)は 一人(ひとり)で 本(ほん)やへ 行(い)って、日本語(にほんご)の 本(ほん)を 二(に)さつ かいました。こんばんから 毎日(まいにち) すこしずつ 読(よ)みます。

2. リーさんは きのうの 午後(ごご)、何(なに)を しましたか。

1 一人(ひとり)で 本(ほん)を かいに 行(い)きました。

2 山下(やました)さんの へやで カレーを 食(た)べました。

3 山下(やました)さんと さんぽしました。

4 日本語(にほんご)の 本(ほん)を 二(に)さつ 読(よ)みました。

3. 山下(やました)さんの カレーは どうでしたか。

1 あまり からくなかったです。

2 からかったので、食(た)べませんでした。

3 からくなかったですが、あまり おいしくなかったです。

4 すこし からかったですが、おいしかったです。

Cerita

CERITA 1

小(ちい)さな 友(とも)だち

Teman Kecil

ひのこは 小(ちい)さくて あおいです。 山(やま)の 上(うえ)の 小(ちい)さい いえに 一人(ひとり)で すんでいます。

ひのこは 本(ほん)が 大(だい)すきです。 毎日(まいにち)、まどの そばで 本(ほん)を 読(よ)みます。

でも、雨(あめ)は きらいです。

今日(きょう)は あさから 雨(あめ)が ふっています。 外(そと)は くらくて、さむいです。

ひのこは いえの 中(なか)で 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

「すみません……」

ドアの 外(そと)に だれか います。 ひのこは ドアを あけます。 小(ちい)さくて 白(しろ)い ねこです。 ねこの からだは とても つめたいです。

ねこは 小(ちい)さい こえで いいます。「さむいです……」

「どうぞ、入(はい)って ください」

ひのこの ちかくは あたたかいです。 ねこは そこで すこし ねます。

それから、ねこは あたたかい おちゃを のみます。

「ありがとう。また 来(き)ても いいですか」「はい、また 来(き)て ください」

ひのこは 雨(あめ)が きらいでした。 でも、今日(きょう)の 雨(あめ)は すこし すきです。

Soal

1. ひのこは 何(なに)が きらいでしたか。

Apa yang dulu tidak disukai Hinoko?

1 本(ほん)

2 雨(あめ)

3 ねこ

4 おちゃ

2. ドアの 外(そと)に だれが いましたか。

Siapa yang ada di luar pintu?

1 白(しろ)い ねこ

2 白(しろ)い いぬ

3 あおい ねこ

4 女(おんな)の子(こ)

3. ねこは ひのこの いえで 何(なに)を しましたか。

Apa yang dilakukan kucing itu di rumah Hinoko?

1 本(ほん)を 読(よ)みました。

2 山(やま)へ 行(い)きました。

3 雨(あめ)の 中(なか)で あそびました。

4 おちゃを のみました。

CERITA 2

コンビニの おにぎり

Onigiri dari Konbini

けんは まいあさ、えきの ちかくの コンビニで おにぎりを 一(ひと)つ かいます。 今日(きょう)は、おにぎりが あと 一(ひと)つです。

となりで、小(ちい)さい おばあさんも その おにぎりを 見(み)ています。「どうぞ」 けんは おばあさんに おにぎりを わたします。「どうも ありがとう」 今日(きょう)の あさごはんは パンです。

つぎの あさ、コンビニの やまださんが けんに 小(ちい)さい ふくろを わたします。「これ、母(はは)からです」 ふくろの 中(なか)には、大(おお)きい おにぎりが 二(ふた)つと、てがみが あります。「きのうは ありがとう」

Soal

1. けんの 今日(きょう)の あさごはんは 何(なん)ですか。

Apa sarapan Ken hari ini?

1 おにぎり
2 パン
3 おかし
4 ラーメン

2. やまださんの ふくろの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Apa yang ada di dalam kantong Yamada-san?

1 大(おお)きい おにぎりと てがみ
2 大(おお)きい パンと てがみ
3 小(ちい)さい おにぎりと パン
4 大(おお)きい おにぎりと パン

3. 小(ちい)さい おばあさんは だれですか。

Siapa nenek bertubuh kecil itu?

1 けんの お母(かあ)さん
2 やまださんの おばあさん
3 やまださんの お母(かあ)さん
4 けんの おばあさん

CERITA 3

にちようびの 学校(がっこう)

Sekolah di Hari Minggu

けんは ベッドで とけいを 見(み)ました。 もう 八時(はちじ)でした！

けんは えきへ はしりました。 でも、けんの めの 前(まえ)で、電車(でんしゃ)の ドアが しまりました。 つぎの 電車(でんしゃ)で 学校(がっこう)へ 行(い)きました。

学校(がっこう)は とても しずかでした。 もんの 上(うえ)に くろい ねこが いました。

「ねこさん、学校(がっこう)は 休(やす)みですか」

けんは スマホを 見(み)ました。 今日(きょう)は にちようびでした！

いえで、けんは あさごはんを たくさん 食(た)べました。 そして、十時(じゅうじ)に また ねました。

Soal

1. もんの 上(うえ)に 何(なに)が いましたか。

Apa yang ada di atas gerbang?

1 くろい いぬ
2 くろい ねこ
3 白(しろ)い ねこ
4 白(しろ)い いぬ

2. けんは 学校(がっこう)へ どうやって 行(い)きましたか。

Bagaimana Ken pergi ke sekolah?

1 バスで
2 車(くるま)で
3 電車(でんしゃ)で
4 じてんしゃで

3. けんは 何時(なんじ)に また ねましたか。

Jam berapa Ken tidur lagi?

1 八時(はちじ)
2 十時(じゅうじ)
3 十一時(じゅういちじ)
4 十二時(じゅうにじ)

CERITA 4

えきの でぐち

Pintu Keluar Stasiun

エマは とうきょうの 大(おお)きい えきに いました。 でぐちが たくさん ありました。 でも、北(きた)ぐちは 分(わ)かりませんでした。

となりに 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)が いました。「すみません。北(きた)ぐちは どこですか」 男(おとこ)の子(こ)は 小(ちい)さい こえで いいました。

「分(わ)かりません……。お母(かあ)さんは 北(きた)ぐちに います」

「じゃあ、いっしょに 行(い)きましょう」

東(ひがし)ぐち、西(にし)ぐち、南(みなみ)ぐち……。 そして、北(きた)ぐちに お母(かあ)さんが いました。

男(おとこ)の子(こ)は 大(おお)きい こえで いいました。「おねえさん、北(きた)ぐちは ここですよ！」

Soal

1. エマは だれに 聞(き)きましたか。

Kepada siapa Emma bertanya?

1 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

2 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さん

3 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

4 大(おお)きい 男(おとこ)の子(こ)

2. 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さんは どこに いましたか。

Di mana ibu anak laki-laki itu?

1 北(きた)ぐち

2 南(みなみ)ぐち

3 東(ひがし)ぐち

4 西(にし)ぐち

3. エマは どこに いましたか。

Di mana Emma berada?

1 きょうとの 大(おお)きい えき

2 とうきょうの 小(ちい)さい えき

3 きょうとの 小(ちい)さい えき

4 とうきょうの 大(おお)きい えき

CERITA 5

お父さんの カレー

Kari Buatan Ayah

にちようびの ばん、お父さんが だいどころに います。 はじめて カレーを つくります。

「いただきます！」 お父さんの カレーは、とても からいです。

お母さんと ゆいは 水を たくさん のみます。

ゆいの おとうとの そらは、まだ 六さいです。 でも、カレーを ぜんぶ 食べます。「おいしい！カレーを もっと ください！」

つぎの にちようび、そらは お父さんに いいます。「また カレーを つくって ください。もっと からい カレーが いい！」 お母さんと ゆいは 大きい コップに 水を 入れます。

Soal

1. だれが 水を たくさん のみますか。

Siapa yang minum banyak air?

1 お父さんと そら

2 お父さんと お母さん

3 ゆいと そら

4 お母さんと ゆい

2. そらは 何さいですか。

Berapa umur Sora?

1 三さい

2 五さい

3 六さい

4 九さい

3. つぎの にちようび、そらは お父さんに 何を いいますか。

Hari Minggu berikutnya, apa yang dikatakan Sora kepada Ayah?

1 「もっと からい カレーが いい」

2 「もっと あまい カレーが いい」

3 「もっと 大きい コップが いい」

4 「もっと つめたい 水が いい」

CERITA 6

ゆうめいな ラーメン

Ramen Terkenal

休みの日、エマと けんは ゆうめいな ラーメンの みせへ 行きました。

みせの 前には 人が たくさん ならんでいました。 二人も 一時間 ならびました。

でも、ドアの 前で、みせの 人が いいました。「すみません。今日は もう スープが ありません」

エマは となりの 小さくて ふるい みせを 見ました。「あの みせに 入りましょう」

小さい みせには、おきゃくさんが いませんでした。「おいしい！」

けんは 二はい 食べました。

つぎの 休みの日、二人は また 小さい みせへ 行きました。 でも、小さい みせの 前にも 人が たくさん ならんでいました。「また 一時間ですね」

Soal

1. 二人(ふたり)は ゆうめいな みせの 前(まえ)で 何時間(なんじかん) ならびましたか。

Berapa jam mereka berdua mengantre di depan kedai terkenal itu?

1 一時間(いちじかん)　　**2** 二時間(にじかん)

3 五時間(ごじかん)　　**4** 十時間(じゅうじかん)

2. 二人(ふたり)は どこで ラーメンを 食(た)べましたか。

Di mana mereka berdua makan ramen?

1 ゆうめいな みせで　　**2** 小(ちい)さい みせで

3 えきの 前(まえ)で　　**4** けんの うちで

3. つぎの 休(やす)みの日(ひ)、小(ちい)さい みせの 前(まえ)は どうでしたか。

Pada hari libur berikutnya, bagaimana keadaan di depan kedai kecil itu?

1 人(ひと)が たくさん いました。　　**2** 人(ひと)が いませんでした。

3 人(ひと)が すこし いました。　　**4** みせが 休(やす)みでした。

CERITA 7

シロの はな

Bunga Shiro

白(しろ)い ねこの シロは、毎日(まいにち) ひのこの いえに 来(き)ます。 今日(きょう)は、シロの くちに はなが あります。 小(ちい)さくて あおい はなです。

シロは ひのこの 前(まえ)に はなを おきます。「どうぞ」

「わあ、きれい！ありがとう、シロ。水(みず)に 入(い)れましょう」

でも、水(みず)は ひのこには あぶないです。 シロが コップに 水(みず)を 入(い)れます。

そして、はなを コップに 入(い)れます。

「シロは あおい はなが すきですか」「はい、大(だい)すきです。ひのこと おなじ いろです」

Soal

1. シロは ひのこの 前(まえ)に 何(なに)を おきますか。

Apa yang diletakkan Shiro di depan Hinoko?

1 白(しろ)い はな
2 あおい はな
3 あおい コップ
4 白(しろ)い コップ

2. ひのこには 何(なに)が あぶないですか。

Apa yang berbahaya bagi Hinoko?

1 コップ
2 はな
3 シロ
4 水(みず)

3. シロは どうして あおい はなが 大(だい)すきですか。

Mengapa Shiro sangat suka bunga biru?

1 ひのこと おなじ いろですから。
2 水(みず)と おなじ いろですから。
3 シロと おなじ いろですから。
4 コップと おなじ いろですから。

CERITA 8

ねこの きって

Prangko Kucing

ゆいは とおい ひろしまの おばあさんに てがみを 書(か)きました。

それから、ゆうびんきょくへ てがみを 出(だ)しに 行(い)きました。

ゆうびんきょくには、ねこの きってと、いぬの きってが ありました。

ゆいは ねこの きってを 十(じゅう)まい かって、ぜんぶ ふうとうに はりました。

ゆうびんきょくの 人(ひと)は その ふうとうを 見(み)て、いいました。「ねこが たくさん いますね」「はい。そぼは ねこが 大(だい)すきですから」

十日(とおか) あとに、ひろしまの おばあさんから てがみが 来(き)ました。

ふうとうには、いぬの きってが 十(じゅう)まい ありました。 ゆいは いぬが 大(だい)すきです。 おばあさんは それを よく しっています。

Soal

1. おばあさんの てがみは いつ 来(き)ましたか。

Kapan surat dari nenek datang?

1 三日(みっか) あと
2 五日(いつか) あと
3 七日(なのか) あと
4 十日(とおか) あと

2. ゆいは ふうとうに きってを 何(なん)まい はりましたか。

Berapa lembar prangko yang ditempel Yui di amplop?

1 一(いち)まい
2 二(に)まい
3 五(ご)まい
4 十(じゅう)まい

3. おばあさんの ふうとうには、何(なん)の きってが ありましたか。

Prangko apa yang ada di amplop nenek?

1 いぬの きって
2 ねこの きって
3 とりの きって
4 はなの きって

CERITA 9

マリアの え

Gambar Maria

ゆいの クラスに、あたらしい せいとが 来(き)ました。

「マリアです。ブラジルから 来(き)ました。よろしく おねがいします」

マリアは しずかで、あまり 話(はな)しませんでした。 ひるごはんも いつも 一人(ひとり)で 食(た)べていました。

えいごの じゅぎょうで、マリアは ノートに えを かいていました。 先生(せんせい)が マリアの つくえの 前(まえ)で とまりました。 ノートには、先生(せんせい)の かおの えが ありました。 クラスの みんなが 先生(せんせい)を 見(み)ていました。

「これは わたしですか」「はい……すみません」 先生(せんせい)は えを よく 見(み)て、いいました。「とても じょうずですね！クラスの みんなの かおも かきませんか」

その ひるやすみ、マリアの つくえの 前(まえ)に、みんなが ならんでいました。

マリアの ひるごはんは、とても にぎやかでした。

Soal

1. マリアは どこから 来(き)ましたか。

Maria datang dari mana?

1 ベトナム
2 タイ
3 ブラジル
4 フィリピン

2. マリアは ノートに 何(なに)を かいていましたか。

Apa yang sedang digambar Maria di buku catatannya?

1 ゆいの かお
2 先生(せんせい)の かお
3 じぶんの かお
4 ねこの かお

3. ひるやすみに、だれが マリアの つくえの 前(まえ)に ならんでいましたか。

Saat istirahat siang, siapa yang mengantre di depan meja Maria?

1 ゆい 一人(ひとり)
2 男(おとこ)の子(こ) 二人(ふたり)
3 女(おんな)の子(こ) 二人(ふたり)
4 クラスの みんな

CERITA 10

うみへ 行く バス

Bus ke Laut

けんは はいしゃが きらいです。 今日は バスに のって、はいしゃへ 行きます。 でも、それは ちがう バスです。 けんは スマホで ゲームを しています。

「つぎは しゅうてんです」 けんは まどの 外を 見ます。「……うみ？」

けんは バスを おりて、うみの 前に たちます。 うみは あおくて、とても きれいです。 かぜも すずしいです。 けんは しゃしんを とって、お母さんに メールします。

すぐに お母さんから メールが 来ます。「はいしゃは？」「……あしたに します」

Soal

1. けんは バスの 中で 何を していますか。

Apa yang sedang dilakukan Ken di dalam bus?

1 おかしを 食べています

2 本を 読んでいます

3 ゲームを しています

4 しゃしんを とっています

2. けんは だれに メールしますか。

Kepada siapa Ken mengirim pesan?

1 お父さん

2 ゆい

3 お母さん

4 はいしゃ

3. けんは いつ はいしゃへ 行きますか。

Kapan Ken akan pergi ke dokter gigi?

1 今日

2 あした

3 あさって

4 らいしゅう

CERITA 11

ポチは どこ？

Di Mana Pochi?

「ポチ！ポチ！」 ゆいが にわで いぬの ポチを よんでいます。

でも、ポチが いません。

お父(とう)さんと お母(かあ)さんも 来(き)て、みんなで さがします。 いっしょに すんでいる おばあさんは かいものに 行(い)っています。 お父(とう)さんは こうえんへ 行(い)って、そらは ベッドの 下(した)を 見(み)ています。 お母(かあ)さんが いいます。「そら、ポチは 大(おお)きいから、そこには いないよ」 そらは ないています。

ゆうがた、おばあさんが かいものから かえります。「ただいま」

おばあさんの 後(うし)ろに、ポチが います！ 「ポチは スーパーまで いっしょに 来(き)て、みせの 前(まえ)で まっていたよ」

その ばん、そらは ポチの そばで ねます。

Soal

1. お父(とう)さんは どこへ 行(い)きますか。

Ayah pergi ke mana?

1 スーパー
2 こうえん
3 学校(がっこう)
4 えき

2. ゆうがた、だれが かいものから かえりますか。

Sore harinya, siapa yang pulang dari berbelanja?

1 お父(とう)さん
2 お母(かあ)さん
3 ゆい
4 おばあさん

3. ポチは どこで まっていましたか。

Di mana Pochi menunggu?

1 スーパーの 前(まえ)
2 こうえんの 前(まえ)
3 学校(がっこう)の 前(まえ)
4 えきの 前(まえ)

CERITA 12

えいがかんで

Di Bioskop

にちようび、けんと エマは えいがを 見(み)に 行(い)きました。

えいがかんで、けんは こわい えいがの チケットを 二(に)まい かいました。

「けんさん、こわい えいがは だいじょうぶですか」

「だいじょうぶ。大(だい)すきだから」

えいがかんの 中(なか)は くらくて、しずかでした。 こわい ところで、エマは となりの けんを 見(み)ました。 けんは めを とじていました。

「けんさん、めを あけて ください」「あけているよ！」 でも、けんは はじめから おわりまで、めを あけませんでした。

えいがの あと、けんは 大(おお)きい こえで いいました。「いい えいがだったね！」「そうですね。けんさんは どこが すきでしたか」

「……らいしゅう、また 見(み)に 行(い)きませんか」

Soal

1. けんと エマは いつ えいがを 見(み)に 行(い)きましたか。

Kapan Ken dan Emma pergi menonton film?

1 どようび

2 にちようび

3 げつようび

4 きんようび

2. けんは えいがかんで 何(なに)を していましたか。

Apa yang dilakukan Ken di dalam bioskop?

1 スマホを 見(み)ていました。

2 めを とじていました。

3 本(ほん)を 読(よ)んでいました。

4 えいがを 見(み)ていました。

3. けんは えいがを ぜんぶ 見(み)ましたか。

Apakah Ken menonton seluruh film itu?

1 ぜんぶ 見(み)ました。

2 半分(はんぶん) 見(み)ました。

3 こわい ところだけ 見(み)ませんでした。

4 何(なに)も 見(み)ませんでした。

CERITA 13

ゆきの ねこ

Kucing Salju

今日(きょう)は あさから ゆきが ふっています。 ゆきは ひのこには
あぶないですから、ひのこは 外(そと)に 出(で)ません。

シロは 外(そと)で あそんでいます。 ひのこは まどから 外(そと)を 見(み)ます。

「シロ、どこ？」

白(しろ)い ゆきの 中(なか)に、めが 二(ふた)つ あります。 シロの めです。

シロは まどの 前(まえ)で、小(ちい)さい ゆきの ねこを つくって、ひのこに 見(み)せます。

「かわいい！シロと おなじだね」

それから、シロは いえに 入(はい)ります。 シロの あしは とても つめたいです。

ひのこは その あしを あたためます。

「ゆきの ねこも 中(なか)に 入(い)れる？外(そと)は さむいから」「だめ！ここは
あたたかいから」

Soal

1. シロは 外(そと)で 何(なに)を していますか。

Apa yang sedang dilakukan Shiro di luar?

1 ねています。

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

3 あそんでいます。

4 おちゃを のんでいます。

2. 白(しろ)い ゆきの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Apa yang ada di tengah salju putih?

1 シロの め

2 ひのこの め

3 小(ちい)さい はな

4 あおい コップ

3. だれが シロの あしを あたためますか。

Siapa yang menghangatkan kaki Shiro?

1 ゆきの ねこ

2 ひのこ

3 シロ

4 ひのこと シロ

CERITA 14

おなじ かさ

Payung yang Sama

あさから 雨(あめ)が ふっていました。 エマは コンビニで かさを かって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせに 入(はい)る 前(まえ)に、かさを いりぐちに おきました。 中(なか)で コーヒーを のんで、本(ほん)を 読(よ)みました。

みせを 出(で)る とき、いりぐちには おなじ かさが たくさん ありました。 エマは ちかくに あった かさを とりました。 いえに かえってから、エマは その かさを よく 見(み)ました。 かさには 小(ちい)さい ねこの えが ありました。 エマの かさではありませんでした。

つぎの あさ、エマは その かさを もって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせの 前(まえ)で、高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)が まっていました。「それ、わたしの かさです！これは あなたの かさですか」「はい……たぶん」「コンビニの かさは ぜんぶ おなじですから、えが あった ほうが いいですよ」

それから、二人(ふたり)は 友(とも)だちに なりました。 今(いま)は、エマの かさにも、友(とも)だちが かいた 小(ちい)さい ねこの えが あります。

Soal

1. エマは かさを どこに おきましたか。

Di mana Emma meletakkan payungnya?

1 きっさてんの 中(なか)

2 コンビニの いりぐち

3 きっさてんの いりぐち

4 コンビニの 中(なか)

2. エマが とった かさには、何(なん)の えが ありましたか。

Gambar apa yang ada di payung yang diambil Emma?

1 ねこの え

2 いぬの え

3 とりの え

4 はなの え

3. つぎの あさ、みせの 前(まえ)で だれが まっていましたか。

Keesokan paginya, siapa yang menunggu di depan kafe?

1 高校生(こうこうせい)の 男(おとこ)の子(こ)

2 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

3 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

4 高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)

CERITA 15

みじかい えんぴつ

Pensil Pendek

今日(きょう)は えいごの テストです。 テストの 前(まえ)に、けんは かばんを あけます。

えんぴつが ありません！ 「えんぴつを いえに わすれた……」

となりの ゆいが、けんに とても みじかい えんぴつを かします。

「つぎは、わすれない ほうが いいよ」

テストの とき、けんは えんぴつを 見(み)ます。 えんぴつに ことばが

あります。「がんばって ください」 けんは げんきに なります。

テストが おわってから、けんは ゆいに えんぴつを かえします。

そして、つぎの あさ、あたらしい 長(なが)い えんぴつも わたします。 長(なが)い

えんぴつにも、けんの ことばが あります。「ありがとう。つぎは

わすれないよ」

ゆいは その えんぴつを まだ つかっていません。 その

えんぴつは、今(いま)も 長(なが)いです。

Soal

1. けんは えんぴつを どこに わすれましたか。

Di mana Ken meninggalkan pensilnya?

1 けんの いえ

2 ゆいの いえ

3 学校(がっこう)の つくえ

4 電車(でんしゃ)の 中(なか)

2. みじかい えんぴつには、どんな ことばが ありますか。

Pesan apa yang ada di pensil pendek itu?

1 がんばって ください

2 つぎは わすれないよ

3 よろしく おねがいします

4 ありがとうございます

3. ゆいは あたらしい 長(なが)い えんぴつを つかっていますか。

Apakah Yui memakai pensil panjang yang baru itu?

1 はい、毎日(まいにち) つかっています。

2 はい、テストで つかいました。

3 いいえ、けんに かえしました。

4 いいえ、まだ つかっていません。

Kunci jawaban

Latihan soal membaca format JLPT
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Cerita 1 (Teman Kecil)
1. 2 · 2. 1 · 3. 4

Cerita 2 (Onigiri dari Konbini)
1. 2 · 2. 1 · 3. 3

Cerita 3 (Sekolah di Hari Minggu)
1. 2 · 2. 3 · 3. 2

Cerita 4 (Pintu Keluar Stasiun)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Cerita 5 (Kari Buatan Ayah)
1. 4 · 2. 3 · 3. 1

Cerita 6 (Ramen Terkenal)
1. 1 · 2. 2 · 3. 1

Cerita 7 (Bunga Shiro)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Cerita 8 (Prangko Kucing)
1. 4 · 2. 4 · 3. 1

Cerita 9 (Gambar Maria)
1. 3 · 2. 2 · 3. 4

Cerita 10 (Bus ke Laut)
1. 3 · 2. 3 · 3. 2

Cerita 11 (Di Mana Pochi?)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Cerita 12 (Di Bioskop)
1. 2 · 2. 2 · 3. 4

Cerita 13 (Kucing Salju)
1. 3 · 2. 1 · 3. 2

Cerita 14 (Payung yang Sama)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Cerita 15 (Pensil Pendek)
1. 1 · 2. 1 · 3. 4

279 cerita dari N5 sampai N2, dengan audio, kamus di setiap kata, dan pengulangan, di web dan di aplikasi hinoko: www.hinoko-japanese.com

Terjemahan

Latihan soal membaca format JLPT, Teks 1

Catatan dari Maria untuk Yuko.

Yuko,

Pesta besok mulai jam enam.

Aku menunggu di depan stasiun jam lima. Ayo pergi bersama.

Kuenya aku yang beli. Tolong kamu belikan minuman dan bawa ya.

Maria

Latihan soal membaca format JLPT, Teks 2

Karangan Li.

Saya datang ke Jepang bulan lalu. Sekarang saya tinggal di apartemen dekat universitas.

Kemarin hari Minggu. Pagi harinya saya berjalan-jalan di tepi sungai bersama Yamashita, tetangga kamar sebelah. Air sungainya sangat jernih.

Kami makan siang di kamar Yamashita, yang memasak kari. Agak pedas, tetapi enak.

Sore harinya saya pergi sendirian ke toko buku dan membeli dua buku berbahasa Jepang. Mulai malam ini, saya akan membacanya sedikit demi sedikit setiap hari.

Cerita 1: Teman Kecil

Hinoko kecil dan berwarna biru. Dia tinggal sendirian di sebuah rumah kecil di atas gunung.

Hinoko sangat suka buku. Setiap hari, dia membaca buku di dekat jendela. Tetapi, dia tidak suka hujan.

Hari ini, hujan turun sejak pagi. Di luar gelap dan dingin. Hinoko sedang membaca buku di dalam rumah.

“Permisi…”

Ada seseorang di luar pintu. Hinoko membuka pintu. Itu seekor kucing kecil berwarna putih. Tubuh kucing itu sangat dingin.

Kucing itu berkata dengan suara kecil: “Saya kedinginan…”

“Silakan masuk.”

Di dekat Hinoko terasa hangat. Kucing itu tidur sebentar di sana. Setelah itu, kucing itu minum teh hangat.

“Terima kasih. Bolehkah saya datang lagi?” “Ya, silakan datang lagi.”

Dulu Hinoko tidak suka hujan. Tetapi, dia sedikit menyukai hujan hari ini.

Cerita 2: Onigiri dari Konbini

Setiap pagi, Ken membeli satu onigiri di konbini dekat stasiun. Hari ini, onigiri tinggal satu.

Di sebelahnya, seorang nenek bertubuh kecil juga sedang melihat onigiri itu. “Silakan.” Ken menyerahkan onigiri itu kepada si nenek. “Terima kasih banyak.” Hari ini, sarapannya roti.

Keesokan paginya, Yamada-san dari konbini menyerahkan sebuah kantong kecil kepada Ken. “Ini dari ibu saya.” Di dalam kantong itu ada dua onigiri besar dan sepucuk surat. “Terima kasih untuk kemarin.”

Cerita 3: Sekolah di Hari Minggu

Di tempat tidur, Ken melihat jam. Sudah jam delapan!

Ken berlari ke stasiun. Tetapi, pintu kereta tertutup tepat di depan matanya. Dia pergi ke sekolah dengan kereta berikutnya.

Sekolah sangat sepi. Ada seekor kucing hitam di atas gerbang. “Pak Kucing, apakah sekolah libur?”

Ken melihat ponselnya. Hari ini hari Minggu!

Di rumah, Ken sarapan banyak. Lalu, jam sepuluh, dia tidur lagi.

Cerita 4: Pintu Keluar Stasiun

Emma berada di sebuah stasiun besar di Tokyo. Ada banyak pintu keluar. Tetapi, dia tidak tahu di mana pintu keluar utara.

Di sebelahnya ada seorang anak laki-laki kecil. “Permisi. Di mana pintu keluar utara?” Anak laki-laki itu berkata dengan suara kecil: “Saya tidak tahu… Ibu saya ada di pintu keluar utara.” “Kalau begitu, mari kita pergi bersama.”

Pintu keluar timur, pintu keluar barat, pintu keluar selatan… Lalu, di pintu keluar utara ada ibunya.

Anak laki-laki itu berkata dengan suara keras: “Kak, pintu keluar utaranya di sini!”

Cerita 5: Kari Buatan Ayah

Minggu malam, Ayah ada di dapur. Dia membuat kari untuk pertama kalinya.

“Selamat makan!” Kari buatan Ayah sangat pedas. Ibu dan Yui minum banyak air.

Sora, adik laki-laki Yui, baru berumur enam tahun. Tetapi, dia menghabiskan semua karinya. “Enak! Minta karinya lagi!”

Hari Minggu berikutnya, Sora berkata kepada Ayah: “Buatkan kari lagi, ya. Aku mau kari yang lebih pedas!” Ibu dan Yui mengisi gelas besar dengan air.

Cerita 6: Ramen Terkenal

Pada hari libur, Emma dan Ken pergi ke sebuah kedai ramen terkenal. Di depan kedai itu, banyak orang sedang mengantre. Mereka berdua juga mengantre selama satu jam.

Tetapi, di depan pintu, pegawai kedai itu berkata: “Maaf. Hari ini kuahnya sudah habis.”

Emma melihat kedai kecil yang tua di sebelahnya. “Ayo kita masuk ke kedai itu.”

Di kedai kecil itu tidak ada pelanggan. “Enak!” Ken makan dua mangkuk.

Pada hari libur berikutnya, mereka berdua pergi lagi ke kedai kecil itu. Tetapi, di depan kedai kecil itu pun banyak orang sedang mengantre. “Lagi-lagi satu jam, ya.”

Cerita 7: Bunga Shiro

Shiro, si kucing putih, datang ke rumah Hinoko setiap hari. Hari ini, ada bunga di mulut Shiro. Bunga itu kecil dan berwarna biru.

Shiro meletakkan bunga itu di depan Hinoko. “Silakan.”

“Wah, cantik! Terima kasih, Shiro. Ayo kita masukkan ke dalam air.”

Tetapi, air berbahaya bagi Hinoko. Shiro-lah yang menuangkan air ke dalam gelas. Lalu, dia memasukkan bunga itu ke dalam gelas.

“Shiro suka bunga biru?” “Ya, sangat suka. Warnanya sama dengan Hinoko.”

Cerita 8: Prangko Kucing

Yui menulis surat untuk neneknya di Hiroshima yang jauh. Setelah itu, dia pergi ke kantor pos untuk mengirim surat itu. Di kantor pos, ada prangko bergambar kucing dan prangko bergambar anjing. Yui membeli sepuluh prangko kucing dan menempelkan semuanya di amplop.

Petugas kantor pos melihat amplop itu dan berkata: “Kucingnya banyak, ya.” “Ya. Karena nenek saya sangat suka kucing.”

Sepuluh hari kemudian, datang surat dari nenek di Hiroshima. Di amplopnya ada sepuluh prangko anjing. Yui sangat suka anjing. Neneknya tahu betul hal itu.

Cerita 9: Gambar Maria

Seorang murid baru datang ke kelas Yui. “Nama saya Maria. Saya datang dari Brasil. Salam kenal.”

Maria pendiam dan tidak banyak bicara. Saat makan siang pun, dia selalu makan sendirian.

Pada pelajaran bahasa Inggris, Maria sedang menggambar di buku catatannya. Guru berhenti di depan meja Maria. Di buku catatan itu ada gambar wajah guru. Semua murid di kelas sedang melihat guru.

“Ini saya?” “Ya… maaf.” Guru memperhatikan gambar itu baik-baik, lalu berkata: “Pandai sekali kamu menggambar! Bagaimana kalau kamu juga menggambar wajah semua teman sekelas?”

Saat istirahat siang hari itu, semua orang mengantre di depan meja Maria. Makan siang Maria sangat ramai.

Cerita 10: Bus ke Laut

Ken tidak suka dokter gigi. Hari ini, dia naik bus ke dokter gigi. Tetapi, itu bus yang salah. Ken sedang bermain gim di ponselnya.

“Berikutnya, pemberhentian terakhir.” Ken melihat ke luar jendela. “…Laut?”

Ken turun dari bus dan berdiri di depan laut. Lautnya biru dan sangat indah. Anginnya juga sejuk. Ken mengambil foto, lalu mengirim pesan kepada ibunya.

Pesan dari ibunya langsung datang. “Lalu dokter giginya?” “…Besok saja.”

Cerita 11: Di Mana Pochi?

“Pochi! Pochi!” Di halaman, Yui sedang memanggil Pochi, si anjing. Tetapi, Pochi tidak ada.

Ayah dan Ibu juga datang, lalu semuanya mencari bersama-sama. Nenek, yang tinggal bersama mereka, sedang pergi berbelanja. Ayah pergi ke taman, dan Sora sedang melihat ke bawah tempat tidur. Ibu berkata: “Sora, Pochi kan besar, jadi dia tidak ada di situ.” Sora sedang menangis.

Sore harinya, Nenek pulang dari berbelanja. “Aku pulang!” Di belakang Nenek, ada Pochi! “Pochi ikut sampai ke supermarket, lalu menunggu di depan toko.”

Malam itu, Sora tidur di samping Pochi.

Cerita 12: Di Bioskop

Pada hari Minggu, Ken dan Emma pergi menonton film. Di bioskop, Ken membeli dua tiket film seram. “Ken, kamu berani menonton film seram?” “Tidak masalah. Aku sangat suka.”

Di dalam bioskop gelap dan sunyi. Pada bagian yang seram, Emma melihat Ken di sebelahnya. Ken sedang memejamkan mata. “Ken, tolong buka matamu.” “Mataku terbuka, kok!” Tetapi, dari awal sampai akhir, Ken tidak membuka matanya.

Setelah film selesai, Ken berkata dengan suara keras: “Filmnya bagus, ya!” “Iya. Ken suka bagian yang mana?” “…Bagaimana kalau minggu depan kita menonton lagi?”

Cerita 13: Kucing Salju

Hari ini, salju turun sejak pagi. Salju berbahaya bagi Hinoko, jadi Hinoko tidak keluar.

Shiro sedang bermain di luar. Hinoko melihat ke luar dari jendela. “Shiro, di mana kamu?”

Di tengah salju putih, ada dua mata. Itu mata Shiro.

Di depan jendela, Shiro membuat kucing salju kecil dan menunjukkannya kepada Hinoko. “Lucu! Sama seperti Shiro, ya.”

Setelah itu, Shiro masuk ke rumah. Kaki Shiro sangat dingin. Hinoko menghangatkan kakinya.

“Kucing saljunya juga kita bawa masuk? Di luar dingin.” “Jangan! Di sini hangat.”

Cerita 14: Payung yang Sama

Hujan turun sejak pagi. Emma membeli payung di konbini, lalu pergi ke kafe. Sebelum masuk, dia meletakkan payungnya di pintu masuk. Di dalam, dia minum kopi dan membaca buku.

Saat dia keluar dari kafe, ada banyak payung yang sama di pintu masuk. Emma mengambil payung yang ada di dekatnya. Setelah pulang ke rumah, Emma memperhatikan payung itu baik-baik. Di payung itu ada gambar kucing kecil. Itu bukan payung Emma.

Keesokan paginya, Emma pergi ke kafe sambil membawa payung itu. Di depan kafe, seorang siswi SMA sedang menunggu. “Itu payung saya! Apakah ini payung Kakak?” “Iya… mungkin.” “Payung konbini semuanya sama, jadi lebih baik ada gambarnya.”

Setelah itu, mereka berdua menjadi teman. Sekarang, di payung Emma juga ada gambar kucing kecil yang digambar oleh temannya.

Cerita 15: Pensil Pendek

Hari ini ada ujian bahasa Inggris. Sebelum ujian, Ken membuka tasnya. Tidak ada pensil! “Pensilku ketinggalan di rumah…”

Yui, yang duduk di sebelahnya, meminjamkan pensil yang sangat pendek kepada Ken. “Lain kali, sebaiknya jangan lupa, ya.”

Saat ujian, Ken melihat pensil itu. Ada pesan di pensil itu. “Semangat, ya!” Ken kembali bersemangat.

Setelah ujian selesai, Ken mengembalikan pensil itu kepada Yui. Lalu, keesokan paginya, dia juga memberinya sebatang pensil baru yang panjang. Di pensil panjang itu juga ada pesan dari Ken. “Terima kasih. Lain kali aku tidak akan lupa.”

Yui masih belum memakai pensil itu. Pensil itu sampai sekarang masih panjang.